

別売品

通話録音サーバ

VR-700VLA SV  
最大100台のVR-L140Hの音声データを収集し、最大72,000時間分の音声データを保存できます。(標準モノラル保存時) 音声データはRDXカートリッジにバックアップできます。



別売の通話録音サーバソフトVR-700VLAは、お客様準備のPCIにインストールして音声データを収集することができます。

音声データ集中管理システム

VR-700CES (13TR/13RR/37RR/68RR)  
最大500台のVR-L140H/VR-700VLA SV及びVR-700/VR-500/VR-400シリーズの音声データを収集できます。音声データの保存容量、形状により4タイプからお選びいただけます。

LAN再生ソフト

VR-LS700CES  
Windows/パソコンからLANを介してVR-700VLA SV、VR-700CESの検索・再生等の操作ができます。

RDXドライブ USB

RDX-D USB  
通話録音サーバVR-700VLA SVで収集した音声データのバックアップやRDXカートリッジにバックアップされた音声データの再生用ドライブとして使用します。



RDXカートリッジ

RDX-160、RDX-500  
通話録音サーバVR-700VLA SVや音声データ集中管理システムVR-700CESで収集した音声データのバックアップ媒体です。RDX-160は約19,000時間、RDX-500は約63,000時間保存できます。(標準モノラル保存時)



縦置スタンド

VR-L140 ST  
VR-L140Hを縦置きするためのスタンドです。



デジタルボイスレコーダー

通話録音装置 VR-L140H

技術基準適合品 T 000197A10



VR-L140Hの主な仕様

接続方式 (音声入力方法)	受話器接続	受話器モジュラー端子 (モジュラー配列 (ピンアサイン) 切替可)
	外部入力接続	3.5φステレオミニジャック
音声	データレート	標準：16kbps 最高音質：64kbps
	送受話分離 ステレオ録音	●
起動方式	音声検出・外部起動・手動・センサ APIによる録音制御	
検索項目	最新、本日、日時範囲指定、オペレータID、オペレータ名	
再生機能	送受話分離再生、連続再生、リピート再生、通話のコピー WAV変換、メモの追加	
録音	最大録音時間	標準モノラル：約237時間/標準ステレオ：約118時間 最高音質モノラル：約59時間/最高音質ステレオ：約29時間
	通話モニター	●
その他	セキュリティ機能	●
	アラーム通知機能	●
	通話データ 転送機能	●
	ヘルプコール機能	●
	時刻修正機能	● (SNTP)
電源及び消費電力	AC100V±10V：(専用電源アダプタ) / 最大約3.5W PoE給電 (IEEE802.3af 準拠)	
寸法：幅×奥行×高さ(mm)	VR-L140H本体：140×113×26 (ゴム足含まず) 通話録音アダプタ：36×73×19	
質量 (g)	VR-L140H本体：210 通話録音アダプタ：39	

VR-700VLA SVの主な仕様

収集対象録音装置	VR-L140H、VR-700/500/400シリーズ	
収集台数	最大100台 (VR-700/500/400シリーズは合計最大10台まで)	
録音	最大保存時間	約72,000時間 (HDD) 録音形式：標準・モノラル
	バックアップ時間 (媒体)	約63,000時間 (RDXカートリッジRDX-500) 録音形式：標準・モノラル
検索項目	通話録音装置、日時、表示名、担当者、自署アドレス、通話種別、ネームディスプレイ、相手番号 発信/着信区別、メモ、分類、再生フラグ (録音記録、録音解除、録音方式により使用できない場合があります)	
その他	セキュリティ機能	●
	アラーム通知機能	●
	ログイン認証機能	● (VR-L140Hのみ)
	時刻修正機能	● (SNTP)
電源及び消費電力	100V±10V 最大200W	
寸法：幅×奥行×高さ(mm)	431×520×176 (突起物含まず) 4U	
質量 (kg)	18.2	

VR-700VLAインストールパソコン最小スペック

項目	内容
OS	Microsoft Windows®7 Professional日本語版 (32ビット版/64ビット版)
CPU	インテル®Core™2 Duoプロセッサ1.80GHz相当以上
メモリ	32ビット版OS:使用可能メモリ2GB以上、64ビット版OS:使用可能メモリ3GB以上
ハードディスク	OSの領域 (32ビット版OS:1GB、64ビット版OS:2GB)に加えてOS以外のシステム領域として14GBの容量が必要です。 空き領域に音声データを保存します。保存する期間により必要な容量を用意してください。
光学ドライブ	DVD-ROMドライブ(インストール時に必要)
ディスプレイ	解像度1024×768以上の表示可能なディスプレイ
入力デバイス	キーボードおよびマウス。またこれらと互換のポインティングデバイス
ネットワーク	100BASE-TX以上のネットワークアダプタ
ソフトウェア	Internet Explorer 8.0
バックアップ	音声データのバックアップはRDXのみ対応しています。このときはRDXドライブ・RDXカートリッジが別途必要です。

※Windows/パソコンはお客様でご用意ください。  
※VR-700VLA をインストールするパソコンは、他アプリケーションをインストールしないで  
専用のパソコンとして用意ください。

定期保守契約のおすすめ

本商品をつねに万全な動作環境でご使用いただくため、定期点検等による保守契約をおすすめします。保守契約に関する詳細内容は販売店までお問い合わせください。

●本商品の故障・誤操作または不具合により、発信音・通話録音などにおいて利用の機会を逸したため発生した損害等の付随的損害の保証、また 修理を要する代替え機器の用意およびその修理中に要する費用負担等については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

●本商品ご購入後は、添付の「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容をご理解していただいでからお使いください。「取扱説明書」には、本商品をご購入されたお客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。

●このカタログの記載内容は2010年11月現在のものです。●仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

**TAKACOM**  
株式会社 **タカコム**  
■支店/営業所 ■出張所  
■東 京03-5651-2281 ■札幌011-271-0225  
■仙 台022-726-7300 ■名古屋052-734-6601  
■大 阪06-6260-4611 ■広 島082-291-6400  
■福 岡092-431-1942  
本社工場 / 〒509-5202 岐阜県土岐市下石町西山304-709  
http://www.takacom.co.jp



お問い合わせは

V390 カ VR4-5C30Y



簡単接続で大規模システムまで対応。  
小規模コールセンター等にも最適!



CTI/CRMとの柔軟性の高いシステムを実現  
ステレオ録音対応でVOC活用をサポート

# 電話機の種類 アナログ デジタル IP電話等 に依存しない柔軟なシステム。

## 既存システムで ネットワーク型通話録音システムを簡単構築！



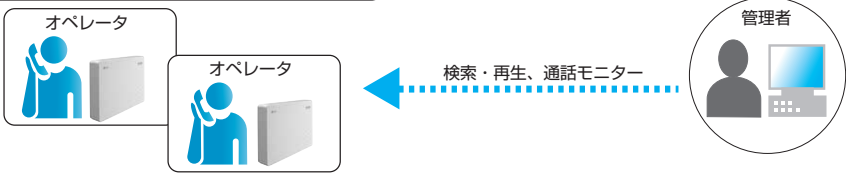
### デジタルボイスレコーダー 通話録音装置 VR-L140H

技術基準適合品 000197A10

▲セキュリティワイヤー取付例

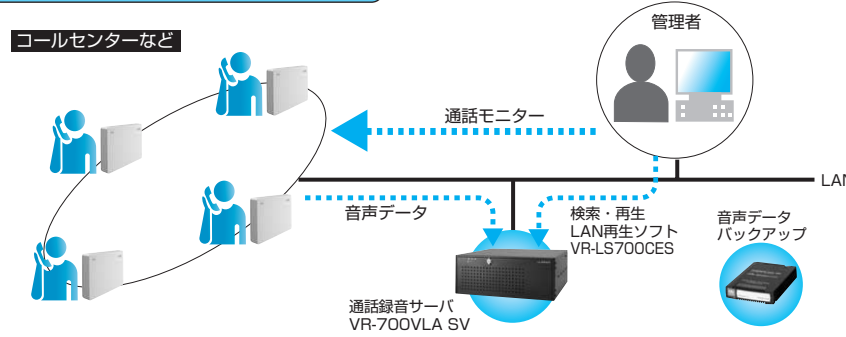
#### ■システム概要図

##### 小規模システム (1席から)



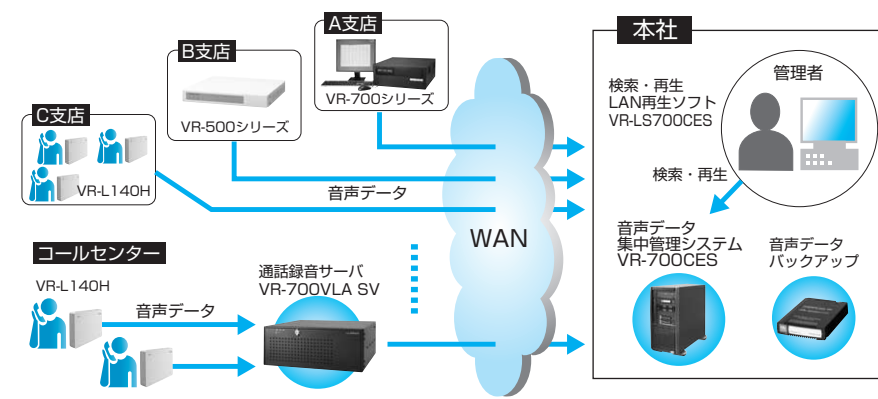
- 各オペレータのVR-L140Hに音声データを最大約237時間保存できます。  
(音声データが標準モノラル保存時の場合)
- 管理者はブラウザ操作により、各オペレータにある装置にアクセスし、検索再生及び通話のモニタリングができます。

##### 中規模システム (100席まで)



- 最大100台までのVR-L140Hの音声データを収集し、最大約72,000時間保存できます。  
(音声データが標準モノラル保存時の場合)
- 音声データはRDXカートリッジにバックアップできます。
- サーバのログイン認証機能により、オペレータログイン管理やフリーシーティングが実現できます。  
(VR-L140H1台につき、PC1台が必要となります)
- 管理者はLAN再生ソフトVR-LS700CESにより、オペレータ名等で検索・再生ができます。  
(別売の通話録音サーバソフトVR-700VLAを、お客様準備のPCにインストールして、音声データを収集することができます)

##### 大規模 集中管理システム



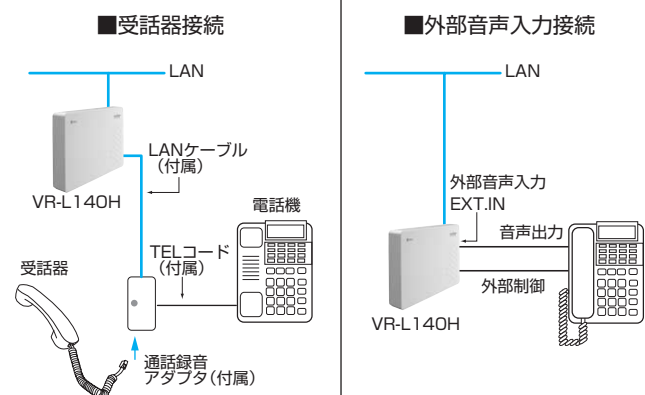
- 最大500台までのVRシリーズの音声データを収集し、長期保存バックアップできます。
- 音声データ集中管理システムVR-700CESは音声データの保存容量、形状により4つのタイプから選べます。
- 音声データはRDXカートリッジにバックアップできます。

#### ■音声データ集中管理システム 比較表

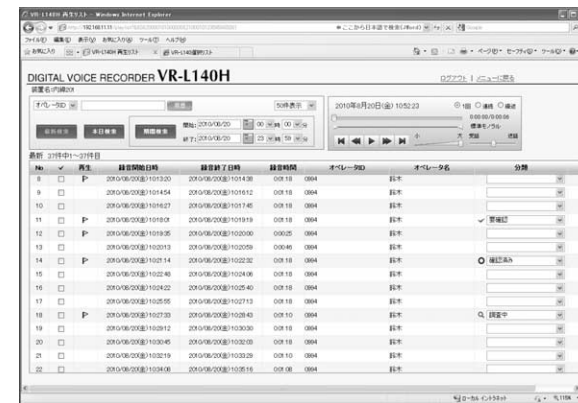
	VR-700CES	VR-700VLA SV	VR-700VLA
収集台数	最大500台	最大100台 ※1	
収集対象録音装置	VR-L140H/ VR-700VLA SV/ VR-700/VR-500/ VR-400シリーズ	VR-L140H/ VR-700/VR-500/ VR-400シリーズ	
音声データ保存時間	13TR: 約13万時間 13RR: 約13万時間 37RR: 約37万時間 68RR: 約68万時間 ※2 ※3	約72,000時間	お客様準備のパソコンのハードディスク容量に依存します。
サーバタイプ	13TR: 据置きタイプ 13RR: ラック収容タイプ 37RR: ラック収容タイプ 68RR: ラック収容タイプ ※3	据置ラック収容 共用タイプ	お客様準備のパソコンに依存します。

※1 VR-700/500/400シリーズの収集可能台数は合計最大10台です。  
※2 音声データ保存時間は標準モノラル時の場合です。  
※3 VR-700CESは音声データの保存容量、形状により4つのタイプがあります。

#### 接続例



#### ■検索・再生画面例



#### ■オペレータ管理画面例 (管理者用画面例)



通話録音サーバのオペレータ管理画面例

管理者用画面例

#### 小型設計・簡単接続

- 筐体の小型化や録音アダプタとの2ピース構造により、設置場所が少ない場所でも安心して導入いただけます。
- 接続は、電話機と受話器の間でモジュラーコネクタによる接続方式のため、回線工事が不要です。  
(受話器接続の場合：ハンドセットコードの無いコードレス電話機等へは接続できません)

#### 内蔵メモリに録音

- 通話は内蔵メモリに、最大約237時間録音(標準モノラル録音時)ができます。古い録音から順に消去し、エンドレス録音ができます。  
(最大録音件数10,000件 ※録音時間もしくは録音件数により制限されます)

#### ブラウザによる各種操作

- オペレータのログイン操作、管理者によるオペレータ管理画面の操作やオペレータへの通話モニターはブラウザで操作ができます。  
(Internet Explorer 7及び8に対応)

#### 検索・再生

- 検索・再生はネットワーク環境にあるお手持ちのパソコンより操作できます。
- 装置への検索・再生はブラウザにより操作ができます。  
(通話録音サーバVR-700VLA SVや音声データ集中管理システムVR-700CESへの検索・再生はLAN再生ソフトVR-LS700CESをインストールしたパソコンより操作できます)

#### セキュリティ機能

- 検索・再生操作は、ID・パスワードを知らない人は操作は一切できないセキュリティ機能です。また装置や通話録音サーバへの検索・再生は権限のある人のみ操作できます。
- あらかじめ登録した期間(最大180日)を過ぎると自動的にパスワード変更を促すパスワード管理ができます。
- セキュリティスロットを利用して、市販のセキュリティワイヤー等で装置をロックでき、装置の盗難・内容漏洩を防止できます。

#### 音声認識・感情解析システムとの連携

- ステレオ録音、非圧縮形式で保存する運用ができますので音声の劣化が無く、音声認識・感情解析システムとの連携をすることにより、通話内容のテキスト化、NGワード検索、また話者の快・不快の状態も監視することができます。  
(※音声認識システム・感情解析システムは別途必要となります)

#### CTI連携のためのAPIを提供

- 録音、再生等の動作をCTIアプリケーション等からコントロールするためのAPIを提供します。またCRMアプリケーション等の対応履歴と録音ファイルを1対1で紐付けることができます。  
(※別途カスタマイズが必要となる場合があります)  
※詳しくは、当社支店(出張所)、営業所へお問い合わせ下さい。

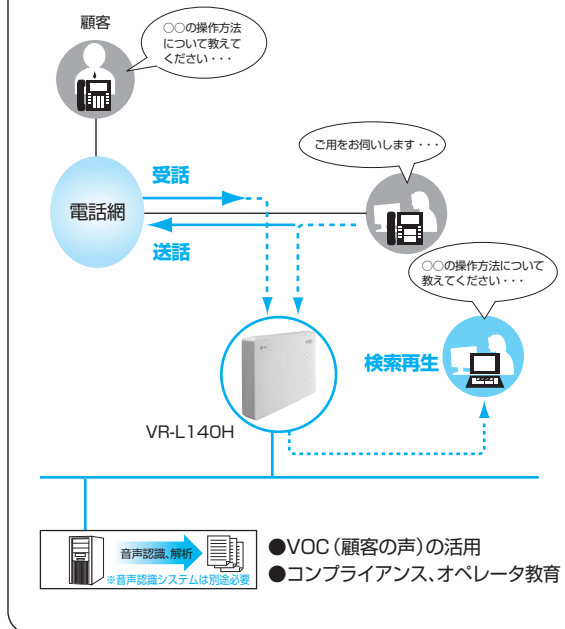
#### ヘルプコール機能

- オペレータのブラウザ操作より、管理者(最大5ヶ所)に対して最大3種類のヘルプメッセージを通知できます。  
(管理者のパソコンに付属のヘルプコールソフトウェアのインストールが必要です)

#### 親切・便利機能

- PoEに対応しているため電源が取れない場所への接続にも対応できます。  
(PoE給電アダプタ、PoE対応Hubは別途ご用意ください)
- 電話機により異なる受話器のモジュラー配列(ピンアサイン)も切替できます。
- 装置が異常状態になったときに特定のパソコンにアラーム通知ができます。  
(監視するパソコンにあらかじめ付属のアラーム監視ソフトウェアのインストールが必要です)
- 通話データを収集し「通話件数」「通話時間」など電話のトラフィック管理ができます。  
(管理するパソコンにあらかじめ付属のデータ受信ソフトウェアのインストールが必要です)

#### 送受話分離のステレオ録音



- VOC (顧客の声)の活用
- コンプライアンス、オペレータ教育